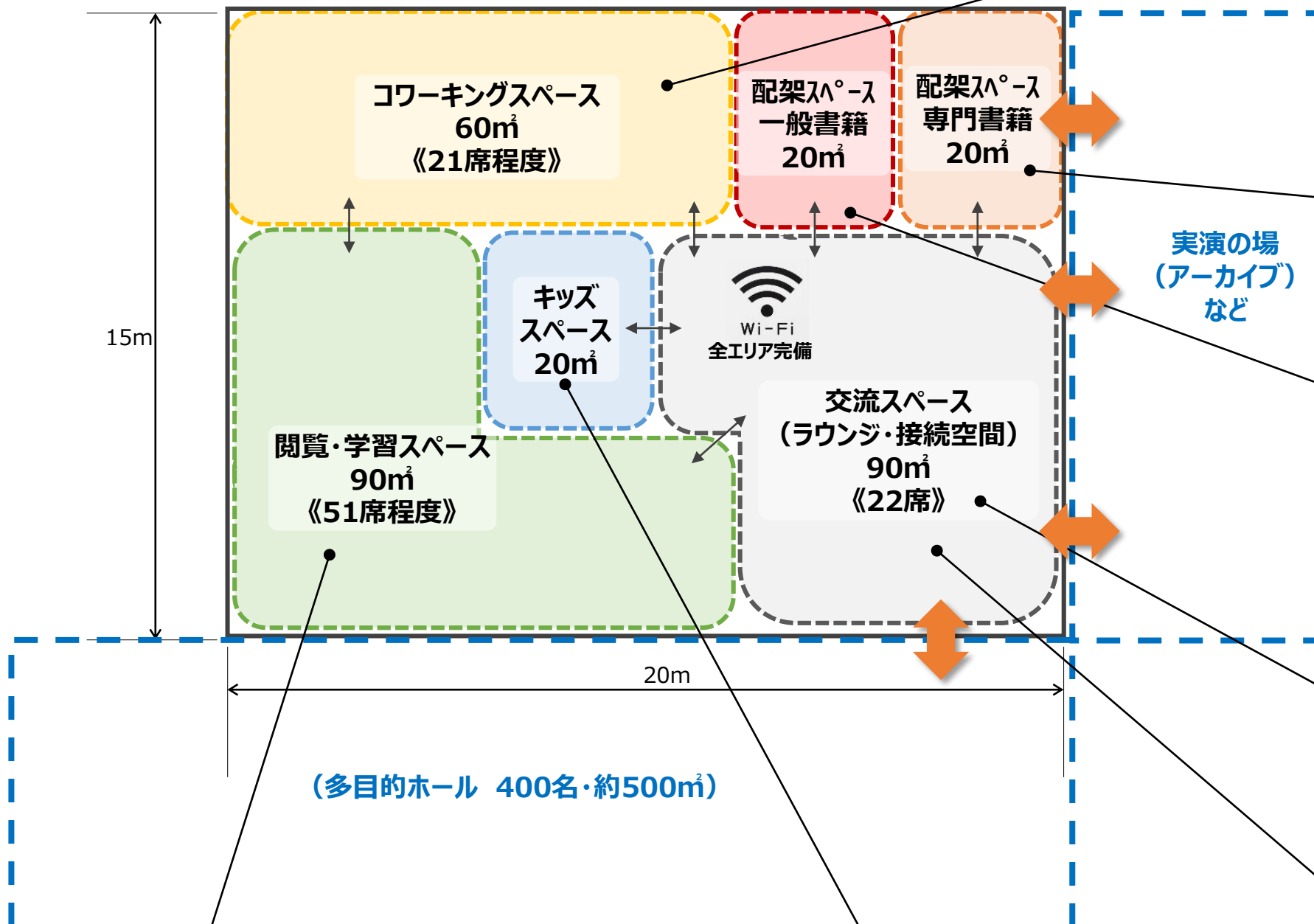


■ 図書施設のイメージ

**注意：規模感をイメージするための図面です。
会議資料用のイメージ図です。**

図書施設イメージ（規模 約300㎡を想定 15m×20m）



コワーキングスペース（イメージ）

- 21席程度（2.9㎡/席）
- レンタルPC利用可
- DVDや歴史資料をPCで閲覧できる
- 電源も完備
- 防音ブースでWEB会議可能



写真：おおぶ文化交流の杜

専門書籍スペース（イメージ）

- 地域に関する書籍、文書、写真などに特化して収蔵
- 地域のアーカイブ機能を補完
- 地域関連書籍の寄付を募る
- 実演の場（アーカイブ）との連携



写真：横浜市寿町健康福祉交流センター

一般書籍スペース（イメージ）

- 雑誌、話題書・ベストセラー本を収蔵
- 外国人向け書籍や新聞雑誌、地域の歴史資料も収蔵
- 目につきやすい本棚は週替わりにテーマを設定して関連書籍を入れ替える
- 人気書籍の寄付を募る



写真：尼崎ユース交流センター

交流スペース（イメージ）

- 交流スペース、打合せスペース、学習スペースとして利用
- 他文化交流やイベントの場としても活用
- ボードゲームなどの貸出があり、子どもの遊び場として賑わう



写真：横浜市寿町健康福祉交流センター

閲覧・学習スペース（イメージ）

- 51席程度（1.8㎡/席）
- 静かに図書を閲覧でき、学習スペースとしても利用可能
- 電源も完備
- レンタルタブレットで電子資料が閲覧できる



写真：尼崎ユース交流センター

キッズスペース（イメージ）

- 子供向け図書を収蔵
- 絵本の読み聞かせができ、ガラス張りにする事で視認性を確保しつつ、遮音性も確保する
- 遊んでる様子を交流スペースから見える
- 子育て世代の情報交換の場としても活用



写真：おおぶ文化交流の杜

ラウンジ・接続空間（イメージ）

- 22席程度
- 多目的ホール、実演の場（アーカイブ）との接続空間
- 図書機能に限らず、多目的スペース・アーカイブ機能の延長として利用可能

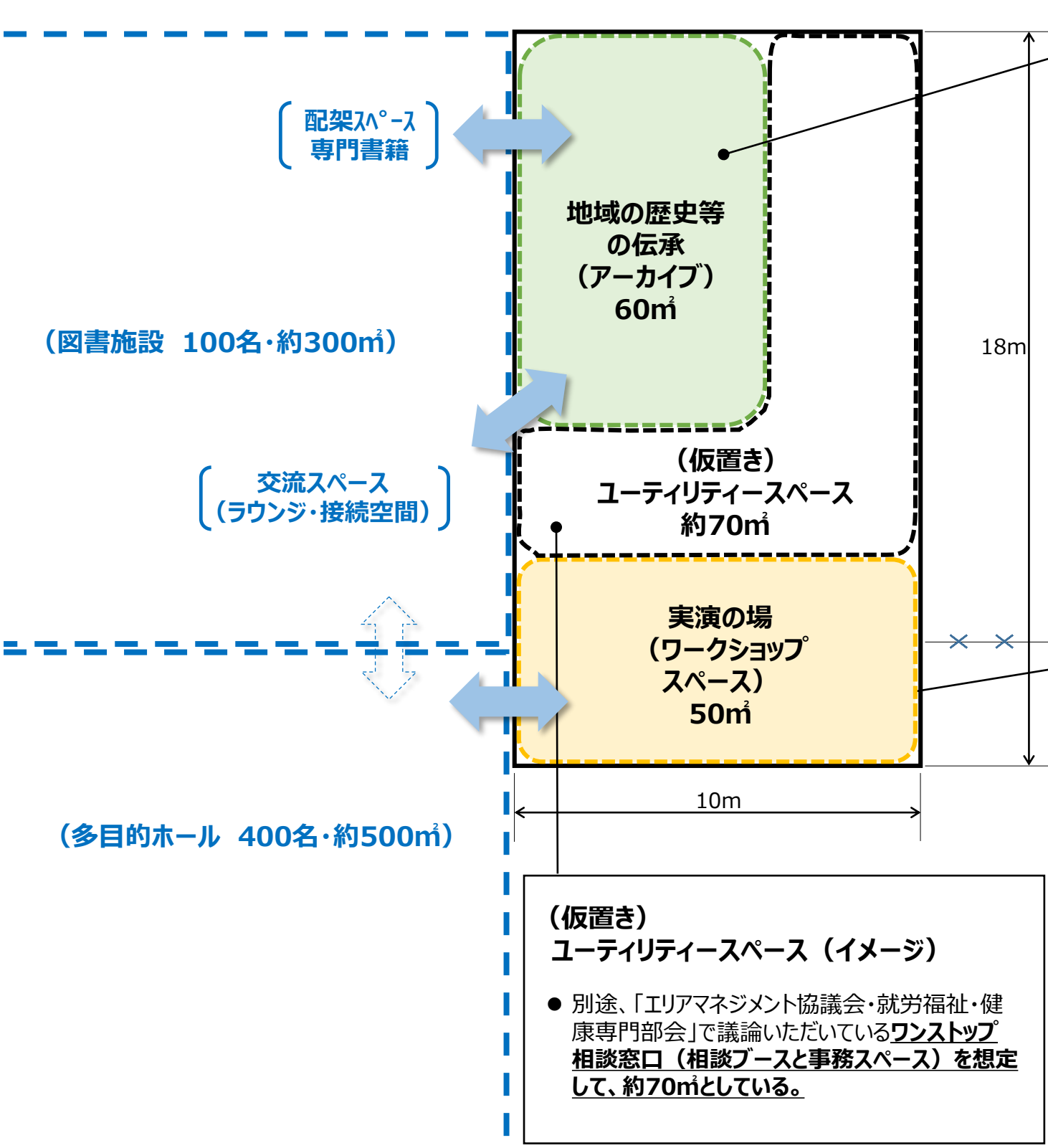


写真：尼崎ユース交流センター

■ 実演の場・地域の歴史等の伝承（アーカイブ）のイメージ

注意：規模感をイメージするための図面です。
 会議資料用のイメージ図です。

実演の場・地域の歴史等の伝承（アーカイブ）・（仮）ユーティリティースペース イメージ（規模 約180㎡を想定 18m×10m）



地域の歴史等の伝承（アーカイブ）（イメージ）

- 既存の西成情報アーカイブを移転
- 西成の歴史文化資源をデジタル化
- デジタルアーカイブの情報機器としてVRやパソコン、視聴スペースの設置
- 配架スペース（専門書籍）と連携し、地域に関する書籍を集積
- 図書施設の交流スペースや配架スペースと接続し、一体的に利用
- 建設業の紹介や建物が完成するまでの流れを展示するなど、西成の労働者の生業を学ぶ



写真：VR体験会（東海農政局）



写真：西原町歴史文化展示施設（沖縄県）



写真：亀岡市文化資料館（京都府）



写真：大洲市立図書館（愛知県）

実演の場（ワークショップスペース）（イメージ）

- ICT技術や最新機器（ドローン等）を体験し学ぶことができるワークショップの開催
- 多目的の利用に対応できるワークショップスペース
- 料理教室や陶芸、工作等ができるように水回り設備も完備
- 大災害に備え、子ども向けに防災訓練を実施
- 土木・建築・建設業の魅力を体感できる、子ども向けものづくりワークショップや職人から直接技術を体験できるイベントの開催



写真：IID世田谷ものづくり学校（東京都）



写真：川西市施工ワークショップ（兵庫県）



写真：建設専門工事業合同体験フェア（愛知県）



写真：大阪市立クラフトパーク

（仮置き）
 ユーティリティースペース（イメージ）

- 別途、「エリアマネジメント協議会・就労福祉・健康専門部会」で議論いただいているワンストップ相談窓口（相談ブースと事務スペース）を想定して、約70㎡としている。